

◎ 展開する事業群(2-1-7)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑦	子育てに伴う経済的支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
★4 ★19 各種手当の支給による支援 (★)	○高等学校奨学金(府制度) ・奨学金により支援を行う (生活保護・ひとり親・市民税非課税世帯)	こども福祉 社会福祉	H22~26	申請者18名 公立以外の高校に進学する生活保護受給世帯について、府の奨学金が利用できるよう支援を行った。
	○子ども手当(★)	こども福祉		支給児童 延べ93,464人 支給総額 1,215,032,000円 児童数(中学3年生まで対象拡大) 9,600人 受給者数 5,660人
	○児童手当	こども福祉		支給児童 延べ13,248人 支給総額 86,520,000円 児童数 6,523人 受給者数 4,016人
	○児童扶養手当(☆) (再掲2-(2)-③)	こども福祉		平成22年8月より父子家庭も対象となる。 支給実人員:398名(内 父子:24名) 総支給額:178,521,000円(内 父子:2,856,840円)
	○母子家庭奨学金 (府制度:広報、申請書配布、進達事務) (再掲2-(2)-③)	こども福祉		申請者471名
	○交通児童奨学金 (府制度:広報、申請書配布) (再掲2-(2)-③)	こども福祉		申請者3名(児童数4名)
	○市特別児童福祉手当 (再掲2-(2)-③)	こども福祉		支給実人員:457名 総支給額:12,870,000円
	○特別児童扶養手当 (国制度、府による認定・支給事務:市は進達事務) (再掲2-(2)-②)	こども福祉		受給者数:101名
	○市心身障害児童特別手当 (再掲2-(2)-②)	こども福祉		支給実人員:119名 総支給額:3,259,200円
★4 ☆ 子育て支援医療費の助成 (☆)	○子どもの医療費の助成(☆) (再掲1-(1)-⑥)	こども福祉	H22~26	入院は中学生まで、入院外は小学3年生まで対象年齢を拡大。 入院:652件 26,370千円 入院外:87,042件 126,324千円
不妊治療費助成	○不妊治療費助成事業 (再掲1-(1)-①)	こども福祉	H22~26	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ86人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ30人
保育・教育費用の負担軽減	○保育所保育料の軽減 (生活保護・ひとり親世帯等)	こども福祉	H22~26	対象67人に保育料の減免
	○幼稚園就園奨励事業 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・市立幼稚園保育料減免	学校教育		京田辺市在住の私立幼稚園児の保護者374人に対して保育料の減免事業を行った私立幼稚園19園に補助を実施した。実績32,658,900円。 市立幼稚園在園保護者延べ18人に対して518,000円の減免措置を実施した。
	○各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・修学旅行費 ・就学援助費 ・特別支援教育就学奨励費 (再掲2-(2)-②)	学校教育		市立小学校児童580人及び中学校生徒425人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額小学校4,060千円、中学校6,375千円。 小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,617千円、中学校1,848千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校590人 37,425千円、中学校276人、12,831千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校18人 528千円、中学校9人、229千円。
	○留守家庭児童会負担金の減免	社会教育		生活保護世帯の負担金を全額免除